

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	5 年
教科等名		外国語		学習グループ	C（準ずる）
ねらい		（知・技）外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話す こと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて、活用できる 基礎的な技能を身に付けるようにする。 （思・判・表）コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で 簡単な事柄について聞いたり話したりするとともに、音声で十分に 慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだ り、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを 伝え合うことができる基礎的な力を養う。 （主）外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しな がら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態 度を養う。			
担当教員		教員：佐藤 匠 多島 康美			
年間授業時数		単位時間 70 時間			
使用教科書		CROWN Jr. 5（三省堂）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	英語で言ってみよう Hello!	6	○ものの名前 色 形 曜日 天気 気持ち ◆中学年で学んだことの復習をする。		・日本語と外国語に違いに気づきやすいよう、目的や場面を明確にして比較するなどする。
5	My name is Jun.	6	○名前を伝え合う 誕生日を伝え合う ◆名前や誕生日など自分のことを伝え合い方を学ぶ。		
6	I play soccer on Tuesdays.	6	○好きな教科や、ふだんよくすることを伝え合う ◆好きな教科や、ふだんよくすることを伝え方を学ぶ。		・動画やイラストなど多角的に活用し場面をイメージしやすくする。
7	The North Wind and the Sun	6	○世界のおはなし ◆既習事項を復習する。		
9	He is my brother.	8	○身近な人の名前 自分との関わりを伝え合う ◆友だちや家族を紹介し合うことを学ぶ。		・リスニングの学習の場合は、聞き取りやすいよう周囲の環境に配慮する。
10	I can jump high.	8	○レジャーランドでできること ◆できることを伝えたり、できることかどうかを尋ねたりする。		
11	She can bake cookies.	6	○さまざまな人の職業、できること、得意なことを伝え合う。 ◆さまざまな人の職業、できること、得意なことを伝え合うことを学ぶ。		

12	1日の生活 Hello, Pam! The Golden Ax	6	○一日の生活 世界のはなし ◆一般動詞 at時間の言い方を学ぶ おすすめの場所と、そこでできることを伝え合う おすすめの場所と、そこでできることを伝え合う	
1	It is in Fukui.	6	○おすすめの場所と、そこでできることを伝え合う ◆おすすめの場所と、そこでできることを伝え合うことを学ぶ。 ○行きたい国と、そこでしたいことを伝え合う ◆行きたい国と、そこでしたいことを伝え合うことを学ぶ	
2	I want to go to Kenya.	6	○おすすめの場所とそこでできることを友だちに紹介して、魅力を共有する ◆おすすめの場所とそこでできることを友だちに紹介して、魅力を共有することを学ぶ。	
3	You can swim in January.	6		

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門小学部	学 年	4、5年
教科等名		図画工作	学習グループ（教育課程）	（準ずる）
ねらい		【準ずる】 (知・技)形や色、方法や材料を知って、工夫することができる。 (思・判・表)造形活動を通して、感じたことや想像したことを表現できる。 (主)自分の思いや想像したイメージを膨らませ、造形活動を楽しむことができる。		
担当教員		教員： 佐藤 匠 多島 康美		
年間授業時数		50単位時間		
使用教科書		図画工作3・4上下 開隆堂		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	季節を感じて	4	○筆、パレット、筆洗の使い方を知って、水の量を工夫して絵を描く。 ◆描き方を試しながら、絵の具で描くことをたのしむ。	・彩飾道具は児童の実態に応じて、持ち手などを工夫する。
5	消防写真会	2	○消防車の写生 ◆消防車の特徴を捉えて描く。	・書き終わらない児童は、動画・写真を見ながら描く時間を設ける。
6	線から生まれた私の世界	6	○線状の紙を組み合わせる ◆身近な材料や道具を使って、手指の動かし方を工夫する。	・素材を扱いやすい大きさにするなど活動しやすくする。
7	風に揺られて	6	○風に揺れるオブジェ作り ◆飾り付けを工夫して作る。ハサミやカッター等で制作する。	・イメージを広げるため動画なども活用する。 ・安全な使い方を指導する。
9	地球まるごと宝箱	6	○古着などの形や色の組み合わせを工夫して、生き物などを立体に表す。 ◆材料の形や色を生かした組み合わせ方を工夫する。	・質感の異なる素材を用意し、表現の違いを意識できるようにする。
10	光サンドイッチ	6	○色セロハンなどを使い、光を通すときれいな飾りをつくる。 ◆光を通す材料の形や色の組み合わせを工夫する。	・組み合わせしやすいよう複数の色を準備する。
11	学校マスコット	8	○粘土と布など他の素材を組み合わせる人形を作る。 ◆粘土と他の素材を組み合わせるなどして、立体的な表し方を工夫する。	・素材を数種類用意して、選択できるようにする。
12	冬の飾り作り	4	○冬の季節の飾りを作る。 ◆いろいろな道具や材料を工夫して作る。	・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。
1	ウッドクラフト	4	○ウッドチップを使って材料を、自分のイメージした建物や家具などの形に見立てて作る。 ◆イメージしたものの特徴を知り、飾り付けを工夫して作る。ハサミやカッター等で制作する。	・素材を数種類用意して、楽しみながら選択し制作できるようにする。
2	飛び出すカード	4	○友達や家族に伝える飛び出すカードをつくり、気持ちを伝える。 ◆飛び出す仕組みを生かし、表し方を工夫する。	・イメージサンプルを分かりやすく提示する。
3				

※児童の学習の習得状況に応じ学習内容の精選や進度の調整を行います。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4、5年
教科等名		音楽		学習グループ（教育課程）	C（準ずる）
ねらい		（知・技）曲想と音楽の構造などとの関わりについて理解するとともに、表したい音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。 （思・判・表）音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことができるようにする。 （主）音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育むとともに、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。			
担当教員		教員：多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数		4年：60単位時間 4年：50単位時間			
使用教科書		小学生の音楽4（教育芸術社） 小学生の音楽5（教育芸術社）			
月	単元（題材）名	指導時数		○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	リズムで表現しよう ①リトミックをしよう	4年 20	5年 17	○表現：手拍子でリズム、リズムで仲良くなろう ラドレの音でせんりつ作り等 ○鑑賞：トルコ行進曲、メヌエット、神田ばやし トランペット吹きの休日等 ○楽器演奏：キーボード、打楽器等 ◆曲に合わせて身体を動かす楽しさを知り、曲の速さや雰囲気を感じ取りながら動きを変えたり、どう動くか考えたりすることができる。 ◆歌詞の意味を理解したり、作者について知ったりすることで、曲に込められた思いを感じながら、聴くことができる。 ◆音符の簡単な読み方が分かり、演奏することができる。	・身体表現などで曲の雰囲気を感じ取れるようにする ・歌詞のある曲は、拡大した歌詞カードを用意し、確認しながら進められるようにする ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える（リズム、速さ、楽器の違いなど）
5	②特徴あるリズムや響きを表現しよう				
6	③楽器を演奏しよう				
7					
9	曲に込められた思いを感じ取り、歌声や演奏で表現しよう ①歌詞を読んで気持ちを歌や身体表現で表現しよう	20	17	○表現：ゆかいに歩けば、もみじ、冬げしき、陽気なかじや にじ等 ○鑑賞：ユーモレスク、「水上の音楽」からアラホーンパイプ、ソーラン節等 ◆音階を意識して曲を聴き、メロディの流れを歌や身体で表現できる。 ◆季節の情景を思い浮かべながら、四季を表現した曲を鑑賞できる。 ○楽器演奏：キーボード、打楽器等	・日本と外国の音楽を聴き比べ、音楽の特徴を感じ取れるようにする ・作者の思いや曲の情景がつかみやすいよう、写真や映像を活用する ・意識的に曲を聴くことができるよう鑑賞のポイントを伝える。
10	②オーケストラの音楽を味わおう				
11	③楽器を演奏しよう				
12	合奏をしよう ①知っている曲を演奏してみよう	20	16	○表現：J－POP ○鑑賞：歓びの歌、交響曲第9番等 ノルウェー舞曲第2番 ◆音の重なりやリズムの重なりをよく聴きながら、音の重なり心地よさを感じ、みんなで演奏する楽しさを感じることができる。 ○楽器演奏：和太鼓 鍵盤ハーモニカ リコーダー等	・聞き馴染みのあるカノンコードを使っている曲を聴かせることで循環コードに気付けるようにする。
1	②みんなで違う楽器を合わせて演奏してみよう				
2					
3					

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や進度の調整を行います。

令和7 年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4 年、5 年
教科等名		体育		学習グループ	C (準ずる)
ねらい		(知・技)各種の運動の行い方について知るとともに、個々に応じて必要な動きや技能を身に付ける。 (思・判・表)簡単なルールを理解し、教員や友達を介し作戦を立てたり友達と協力したりできる。 (主)各種運動の楽しさに触れ、進んで取り組もうとする。 保健：健康の保持増進と体力の向上を図るとともに、明るく豊かな生活を営む態度を養う。			
担当教員		教員： 佐藤 匠 多島 康美			
年間授業時数		4 年 3 5 単位時間 5 年 2 0 単位時間			
使用教科書		新しいほけん4年 5年 (東京書籍)			
月	単元 (題材) 名	指導時数		○主な学習内容、◆ねらい (評価の観点)	指導の工夫
4	道具を使つての運動 (授業参観発表)	4 年 1 0	5 年 5	○シュート型ゲーム ○ネット型ゲーム ◆自分のチームが分かる。シュートできる力加減やタイミングを覚え、ゲームを行う。	・個々の課題に応じた道具を使用したり介助したりする。
5					
6	水泳 (実施できない場合 体づくり運動)	7	5	○水遊び(水慣れ、水中歩行、もぐる、息を吐くなど) ○浮く(背浮き、伏し浮き、けのびなど) ○泳ぐ(補助具を使ってキックやストローク等) ◆水に慣れ、リラックスするとともに水中で意欲的に身体を動かす。	・個々の課題に応じ、補助具を使用したり介助したりする。 ・気温や水温、体調の変化に留意し、無理なく活動できるようにする。
7					
9					
10					
11	表現	7	3	○ダンス (しかもと音頭、よっちょれ等) ◆振付を覚えて、一人で踊ることができる。	・ダンスの振付を、写真やイラスト、動画等を用意し、視覚的に分かりやすくする。
12	サーキット走 陸上	7	3	○サーキット走 ○3 0 m走 ○リレー ◆ダイナミックに腕や足を動かすことを意識して走ったり身体を動かしたりする。	・タイムを計測したり、友達と競ったりするなど、自分のスピードの変化を意識できるようにする。
1					
2					
3	保健	4	4	○健康な生活、身体の発育・発達 ◆心や身体の健康に関心をもつ。	・イラストや映像を活用し、興味関心を高める。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	5 年
教科等名		家庭		学習グループ	C（準ずる）
ねらい		(知・技) 家族や家庭、衣食住、消費や環境などについて、日常生活に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。 (思・判・表) 日常生活の中から問題を見い出して課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価。改善し、考えたことを表現するなど、課題を解決する力を養う。 (主) 家庭生活を大切にすることの心情を育み、家族や地域の人々との関わりを考え、家族の一員として、生活をよりよくしようと工夫する実践的な態度を養う。			
担当教員		教員： 多島 康美			
年間授業時数		単位時間 60 時間			
使用教科書		新しい家庭 5・6 （東京書籍）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	私の生活、大発見！	20	○どのような生活をしているのかな ◆自分にできそうな家庭の仕事を見つけ、きることを増やす。		・家庭科学習ノートを活用して、スムーズに学習に取り組めるようにする。 ・図やイラストを使った資料を活用して、分かりやすく調理できるようにする。 ・映像資料等を活用して、分かりやすく調理できるようにする。
5	ゆでる調理でおいしさ発見		○ゆでる調理をしよう ◆調理の目的や手順を考え、実践する。		
6	ひと針に心をこめて		○針と糸を使ってできること ◆手ぬいを経験し、手ぬいのよさを生活に生かす。		
7					
9	持続可能な社会へ 物やお金の使い方	25	○物やお金の使い方 ◆よりよく選ぶことや買い物について考え、持続可能な社会について知る。		・家庭でもお金の使い方を学習できるように、ワークシート等を活用する。 ・望ましくない環境のイラストと比較させて、快適に生活するために何をすべきか考えられるようにする。 ・家庭で計画できるように、ワークシート等を活用する。
10	食べて元気！ ご飯とみそ汁		○ご飯とみそ汁の調理 ◆毎日の食事を見つめ、飯とみそ汁を調理して、食事について考える。		
11	物を生かして住みやすく		○物を生かして住みやすくしよう ◆身の回りや生活の場を見つめ、物を生かした快適な生活を学ぶ。		
12	気持ちがつながる家族の時間		○家族とふれ合う時間を見つけよう ◆わが家流団らんタイムを計画し、団らんを生活の中に生かそうとする。		

1	ミシンにトライ！手作りで楽しい生活	12	○手作りで楽しい生活 ◆ミシンぬいのよさを見つけ、世界に一つだけの作品を楽しく使う。	・製作キット等を活用して、スムーズに作品を作れるようにする。
2				
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	4・5年
教科等名		総合的な学習の時間		教育課程	C（準ずる）
ねらい		(知・技)自分たちの住む地域の特徴について具体的な事実に触れ、自分の暮らしとつながりや関わりに気付く。 (思・判・表)知りたいと思った情報を、図書館資料やインターネット、インタビュー等で調べ、伝えたいことをまとめる。 (主)課題を解決するために主体的に取り組む。			
担当教員		教員： 多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数		70単位時間			
使用教科書		なし			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	話し合っ て気持 ちよい環 境をつ くろう	20	○どのような環境がよいか考えよう。 ○話し合おう ◆友達同士で話し合いながら計画を進める力を養う。 ◆互いに意見を出し合い、児童が主体の話し合いができるようになる。		活動内容を児童が話し合いを通して決めるようにする。 ・安全に気を付けながら学習できるように環境設定をする。 ・図や写真等、視覚教材を用いて理解を深める。 ・計画を立て、安全に気を付けて外出するようにする。 ・安全に気を付けながら調理の経験ができるようにする。 ・他学部の教員とも連携し、授業計画を綿密に立てる。 ・今後、自分がどのような力をつけたら良いかを考えるきっかけを作る。 ・中学生になったことを想像しながら見学するようにする。
5					
6					
7					
9	町の安全点検 買い物学習 地域に出よう	30	◆地域に出る体験をする ○学校周辺の安全についての調べ学習を行い、発表し合う。 ○近隣の図書館に行き、本の貸し出しを体験する。 ○近隣のスーパー等で買い物をする。		
10					
11					
12					
1	防災や地球環境について知ろう	20	○防災や地球環境についての調べ学習を行う ◆防災や地球環境についての調べ学習を通して理解を深める。		
2					
3					
2	一緒に作って 食べよう2	20	○調理学習 ◆調理に見通しをもち、友達と協力して活動する		
3	学習発表会をしよう		○学習発表会をしよう ◆小学部から高等部の学習グループで集まり、互いに教え合うことで意欲を高める。 ○調理学習 ◆調理に見通しをもち、友達と協力して活動する。		

	先輩に学ぼう 自分の進路を考えよう 中学部の授業を見学しよう		○自分の進路のイメージづくり ◆進学や就職のためにどのような準備が必要なのか、具体的に考える。 ◆様々な職業があることを知り、進路選択の幅を広げる。 ○中学部授業見学 ◆中学部の先輩の姿を見ることで、比較的近い将来の自分の進路をイメージする。	
--	--	--	--	--

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や、進度の調整を行います。

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年 5 年
教科等名		道徳	学習グループ（教育課程）	C（準ずる）
ねらい		(知・技) 善悪の判断や誠実な心を養う。また、節度ある生活で、個性を伸ばす。 (思：判・表) 周囲の人との関わりの中で、親切心や感謝の気持ちをもつ。 (主) 社会や集団の関わりの中で、道徳的な判断力を育てる。		
担当教員		教員：多島 康美 佐藤 匠		
年間授業時数		38 単位時間		
使用教科書		小学 どうとく ゆたかな心 4 年 5 年（光文）		
月	単元（題材） 名	指導時 数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	友情、信頼	3	○友情 信頼 ◆お互いを理解し大切にすることをもち、よりよい友人関係を育てる。	・絵本等を活用し、イメージしやすいようにする。
5	自然愛護	4	○自然愛護 ◆植物の不思議さを感じ取り、身の回りの植物を大切にしようとする。	・ワークシートを使って、自分のことを振り返られるようにする。
6	生命の尊さ	7	○いのちのまつり、いただきます ◆自分の生命と他の生命とのつながりが分かり、生命を大切にしようとする。	・飼育の経験を通して感じたことと結び付けた発問をする。
7	国や郷土を愛する態度	3	○郷土愛 ◆郷土の伝統と文化を大切にし、郷土の伝統行事に参加しようとする心情を育む。 ○自分らしさ	・日本の昔遊びや海外の人と触れ合う経験を設ける。
9	個性の伸長	3	◆自分自身の特徴に気づき、光り輝く特長にしていこうとする。	・ロールプレイングを設定し、物語の役になりきる場面を作り、具体的に考えられるようにする。
10	規則の尊重	4	○みんなで作ろう！ルールブック ◆約束や社会のきまりの意義を理解し、それらを守ろうとする。	・自分のことや家族のことを振り返るワークシートを使用し、整理できるようにする。
11	家族愛、家庭生活の充実	3	○家族愛 ◆家族に感謝し、家族のためにできることを進んでしようとする。	・具体的な場面を設定して演じてみる。
12	礼儀	3	○生きたれいぎ ◆礼儀の大切さを知り、だれに対しても心を込めて接しようとする。	・心情理解の学習を国語の学習と結びつ付ける。
1	感謝	3	○ありがとうの心 ◆高齢者に対して尊敬と感謝の念をもって生活しようとする。	・状況がイメージしにくい内容や、映像資料が有効と思われる場合には、適宜視聴覚機材を活用する。
2	公正、公平	3	○お日さまの心で ◆誰に対しても分け隔てをせず、公正、公平に接しようとする。	
3	国際理解、国際親善	2	○世界を知ろう ◆他国の人々の生活や文化を理解し、大切にしていこうとする。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	5 年
教科等名		特別活動	学習グループ（教育課程）	A（自立） C（準ずる）
ねらい		（知・技）集団の活動の中で、学年の友達や他学年の友達に意識を向ける。 （思・判・表）児童の交流の機会を通して、帰属意識や信頼関係を養い、集団で楽しく活動する経験を積み重ね、自分の気持ちを伝えようとする。 （主）教職員や友達との交流を通して、よりよい人間関係を育て、社会性を育む態度を養う。		
担当教員		教員：多島康美・福澤誠人・山口みのり・大熊しのぶ C G：日隈智恵・徳田めぐみ		
年間授業時数		37 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	始業式 自己紹介	10	○各行事 ・新入生歓迎会、始業式、移動教室、終業式等 ◆学年、学部の友達との仲間意識を育む。 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ◆移動教室を通して保護者と離れて友達と一緒に宿泊する経験をする。 ○学年活動（他学年交流を含む） ・教職員紹介、交流遊び、簡単なゲームや歌 ◆歌やゲーム、交流を通して、集団での活動の雰囲気や挨拶、ルールについて知る	・学習グループの異なる児童同士が関わることに主軸を置いた内容を設定する・学校行事の特質を生かし、特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る
5	新入生歓迎会			
6	学年の時間 移動教室 クラブ活動			
7	他学年交流 終業式			
9	始業式 学年の時間 クラブ活動	16	○各行事 ・終業式等 ◆学期の始まりと終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る ○学年の時間（他学年交流を含む） ・季節を感じる遊び、簡単なゲームや歌等 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める	・準ずる教育課程の児童の役割を明確にし、教育課程の異なる児童の集団でのねらいを設定していく ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る
10	他学年交流 終業式			
11				
12				
1	始業式 6年生を送る会	11	○各行事 ・6年生を送る会、始業式、修了式 ◆学期の始まりや学年の終わりに意識を向け、学校生活の節目を知る。 ○学年の時間（他学部・他学年交流を含む） ・冬の遊び、進級に向けて1年の振り返り ◆卒業式への参加を通して次年度への期待感をもつ。 ◆集団での活動を通して、他の児童に関心をもち、児童同士の交流を深める。	・児童が見通しをもち、安心して参加できるよう視聴覚教材や身体活動を伴う教材を準備する。 ・学校行事の特質を生かし特別活動における集団活動と交流活動の関連を図る
2	学年の時間 クラブ活動 他学年交流			
3	N部門との交流 卒業式 修了式			

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	5 年
教科等名		国語	学習グループ	C（準ずる）
ねらい		（知・技）日常生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。 （思・判・表） 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」 の各領域において、筋道立てて考える力や 豊かに感じたり想像したりする力を養い、日 常生活における人との関わりの中で伝え合う 力を高め、自分の思いや考えを広げている。 （主）言葉を通じて積極的に人と関わったり、思い や考えを広げたりしながら、言葉がもつよさを認識しようとしているとともに、進んで読書を し、言葉をよりよく使おうとしている。		
担当教員		教員： 佐藤 匠 多島 康美		
年間授業時数		単位時間 1 8 9 時間		
使用教科書		新しい国語 5 （東京書籍）		
月	単元（題材）名	指導 時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	人物の心情を音読で伝えよう おにぎり石の伝説	6 5	●登場人物の心情が変化していく様子を読み取り、音読で表現することができる。 ◇登場人物の心情やその変化を音読で表現する。	・いくつかお題を用意し、そのの中から話すようにする。 ・役割音読を行い、登場人物の気持ちを理解できるようにする。 ・段落に注目して文章の組み立てが分かるようにする。
5	知りたいことを聞き出そう 要旨をまとめ、自分の考えを伝えよう インターネットは冒険だ		●インタビューをして、自分の知りたいことを相手から聞き出すことができる。 ◇インタビューなどをして必要な情報を集める。 ●文章の構成を確かめて要旨を捉え、筆者の考えに対する自分の意見を伝え合うことができる。 ◇説明的な文章を読み、分かったことや考えたことを話し合う。C(2)ア	
6	地域のみによくを伝えよう 物語の組み立てについて考えよう		●文章の筋道を立てながら、タウン誌の記事を書くことができる。 ◇伝える情報を整理して、地域の魅力を紹介 する文章を書く。B(2)ア ●物語の全体像を捉え、物語の中で大きく変化したことについて、考えたことを話し合うことができる。 ◇物語を読み、内容を説明したり考えを伝え 合ったりする。C(2)	
7	書き手の意図を考えよう 新聞記事を読み比べよう		●書き手が、記事の内容や見出し、写真に、どのような意図をこめているのかを考えることができる。 ◇二つの新聞記事を読み比べて考えたことを 伝え合う。C(2)ア	・調べたと自分の考えが混同しないように分けてまとめる。 ・調べ学習と連携して学習を進める。

9	問題を解決するために話し合おう 物語のおもしろさを解説しよう 注文の多い料理店	7 5	●意図を明確にしながら計画的に話し合って、身の回りにある問題の解決方法を見つける ことができる。 ◇それぞれの立場から考えを伝えるなどして 話し合う。A(2)ウ ●構成や表現の工夫を見つけ、物語のおもしろさを解説する文章を書くことができる。 ◇物語を読み、内容を説明したり、物語のおもしろさについて考えたことを伝え合ったりする。C(2)イ ●筆者の言う「文化を受けつぐ」ということについて、ほかの情報を重ね合わせ、自分の考えをまとめて交流することができる。 ◇説明や解説などの文章を比較するなどして 読み、分かったことや考えたことを、話し合う。C ●資料を効果的に活用しながら、和の文化の ポスターを作ることができる。 ◇文章と図表の特徴を踏まえてポスターを作る。	
10	「文化を受けつぐ」ことについて考えよう 和の文化を受けつぐー和菓子 さぐる 和の文化を発信しよう			
11	人物像について考えたことを伝え合おう 大造じいさんとがん			
12	日本語と外国語			
1	ロボットとの未来について考えよう 「弱いロボット」だからできること	4 9	●日本語と外国語を比べ、日本語の特徴に気づくことができる。 ◇考えたり調べたりしたことをカードにまとめる ●二つの文章を読み、ロボットとの未来について考えたことを話し合うことができる。 ◇複数の本や新聞などを活用して、調べたり 考えたりしたことをまとめる。C(2)ウ	
2	どう考える？ もしもの技術		●反対意見を予想しながら、自分の考えたことや伝えたいことを書くことができる。 ◇反対意見を予想しながら意見文を書く。B(2) ア	
3	わたしの文章見本帳		●文章の種類に着目して、自分だけの文章見 本帳を作りましょう。 ◇これまでに書いた文章をもとに、文章見本 帳を作る。	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	5 年
教科等名		社会	教育課程	C（準ずる）
ねらい		(知・技)我が国の国土の地理的環境の特色や産業の現状、社会の情報化と産業の関りについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 (思・判・表)社会的事象の特色や相互の関連、意味を多角的に考える力、社会に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや洗濯・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 (主)社会的事象について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。		
担当教員		教員：多島 康美		
年間授業時数		単位時間 100時間		
使用教科書		新しい社会（東京書籍）5年		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	・世界の中の国土し 世界の国々と日本の位置 国土の地形の特色	20	○我が国の国土の地理的環境の特色や国民生活との関連について知る ◆我が国の国土の地理的環境の特色について、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる能を身に付け、多角的に考え、我が国の国土に対する愛情を養う。	・日本地図パズルや都道府県調べなどを通して、概要を理解できるようにする。 ・自分の生活と結び付けて考えられるようにする。
5	国土の気候の特色			・映像や写真を取り入れ、イメージしやすくする。
6	・わたしたちの生活と食糧生産 米づくりのさかんな地域 水産業のさかんな地域	25	○我が国の農業や水産業について知る。 ◆我が国の農業や水産業における食料生産の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付ける。 ◆我が国の食料生産が国民生活に果たす役割や食料生産に関わる人々の働きを多角的に考える力、食料生産に見られる課題を把握してその解決に向けて考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ◆我が国の食料生産について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	・調べたことをまとめ、発表する機会を設ける。
7				
9	・わたしたちの生活と工業生産	21	○自動車の生産にはげむ人々 ○日本の工業生産と貿易・運輸 ◆我が国の工業生産の現状について、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳	

	自動車をつくる工業 工業生産を支える運輸と貿易		や地球儀、統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ◆我が国の工業生産が国民生活に果たす役割や工業生産に関わる人々の働き、貿易や運輸の役割を多角的に考える力、工業生産に見られる課題を把握してその解決に向けて考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ◆我が国の工業生産について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	
10	日本の工業生産の今と未来			
11				
12	情報化した社会と産業の発展	1 5	○情報化した社会と産業の発展 ○産業の発展と私たちの暮らし ◆我が国の社会の情報化と産業の関わりについて、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、聞き取り調査や、映像や新聞などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ◆放送、新聞などの産業が国民生活に果たす役割や、情報を生かして発展する産業が国民生活に果たす役割を多角的に考える力、考えたことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。 ◆我が国の社会の情報化と産業の関わりについて、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の産業の発展を願い我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	
1				
2				
3	わたしたちの生活と環境	1 9	○自然災害を防ぐ ○私たちの生活と森林 ◆我が国の国土の自然環境について、国民生活との関連を踏まえて理解するとともに、地図帳や統計などの各種の基礎的資料を通して、情報を適切に調べまとめる技能を身に付けるようにする。 ◆国土の自然災害と自然条件との関連や、森林資源が果たす役割、公害防止の取り組みとその働きを多角的に考える力、国土の環境保全に見られる課題を把握して、その解決に向けて社会への関わり方を選択・判断する力、考えたことや選択・判断したことを説明したり、それらを	

			基に議論したりする力を養う。 ◆我が国の国土の自然環境と国民生活との関連について、主体的に学習の問題を解決しようとする態度や、よりよい社会を考え学習したことを社会生活に生かそうとする態度を養うとともに、多角的な思考や理解を通して、我が国の国土に対する愛情、我が国の将来を担う国民としての自覚を養う。	
--	--	--	---	--

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部		学 年	5 年
教科等名		算数		学習グループ	C（準ずる）
ねらい		(知・技) 算数学習を進める手順や、ことばや図や式などを用いて考え、説明する仕方を知る。 また、話し合いのよさなどを理解し、それらに必要な事柄を取り上げることができる。 (思・判・表) 図、式、ことばなどを関連づけて考えたり、わかりやすく筋道立てて説明したりすることができる。 (主) 学習の進め方に関心を持ち、話しあい活動や発表に進んで取り組もうとする。学習を進める手順や話し合いの仕方などを知り、これからの学習にいかそうとする。			
担当教員		教員： 多島 康美 佐藤 匠			
年間授業時数		1 9 6 単位時間			
使用教科書		わくわく算数5上下（啓林館）			
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）		指導の工夫
4	整数と小数 体 積	5 5	○記数法の仕組み ◆整数や小数について 10 倍や 1/10 にしたときの小数点の移動の仕方を考えることを通して、十進数の仕組みや表し方の理解を深めると共に生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○体積の概念、体積の表し方や求め方 ◆直方体や立方体の体積について、その比べ方や表し方を理解し、求め方や公式を考えたり単位を適切に用いて表現したりすることを通して、体積の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。		・視覚的教材を用意する。 ・位取り表を活用する。 ・数直線などを用いて数の概念が分かるようにする。
5	比例 小数のかけ算		○比例にもとづいたかけ算の意味の見直し、数直線図 ◆伴って変わる 2 つの数量について、その変化の様子や関係について調べたり考えたりすることを通して比例の意味を理解するとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○（整数）×（帯小数）の立式とその根拠、計算の仕方 ◆小数をかける計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して小数のかけ算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。		・立てる、かける、ひく、おろすの手順を理解し、取り組めるようにする。 ・先に計算するところに下線を引くように指導する。
6	小数のわり算 割合（1）		○（整数）÷（帯小数）の立式とその根拠、計算の仕方 ◆小数でわる計算について、その意味や仕方を考えたり説明したりすることを通して、小数のわり算になる場面をとらえて計算できるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○小数倍の意味と適用 ◆割合や数量が小数で表された場面で、図や式を使って 2 つの数量の割合について調べたり考えたりすることを通して、小数		・図に書いて、割合の意味が分かるようにする。 ・1cm ² の正方形を敷き詰める活動を行い、計算の仕方に気付けるようにする。

7	合同な図形		倍の意味を理解するとともに、小数倍を使った計算を生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○合同な図形における構成要素の対応関係、対応することの意味、対応する構成要素の性質、合同かどうかの判断、作図 ◆合同な図形や多角形の角の大きさについて、図形を重ね合わせる活動を通して合同の意味を理解し、合同な図形の性質や作図の仕方を考えたり多角形の角の大きさを調べたりすることを通して、平面図形についての理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・数直線を用いる。概数の良さを感じられるようにする。 ・既習事項をもとに計算の仕方を考えられるようにする。
9	整数		○倍数、公倍数、最小公倍数の意味 ◆整数の性質について、偶数・奇数や倍数・約数の意味を理解し、倍数や約数の求め方を考えたりそれらを使って問題解決したりすることを通して整数の見方・考え方を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・数えた資料には印を付けるようにする。
10	分数	8 0	○約分の意味、約分の仕方、異分母分数の加減 小数・整数を分数で表す ◆異分母分数の加減計算や商としての分数を考えたり説明したりすることを通して、分数についての理解を深めるとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○三角形の面積公式の導出と適用 ◆三角形や四角形の面積について、その求め方や公式を考えたり説明したりすることを通して、面積を求めたり平面図形の見方・考え方を深めたりするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・「1」の概念を基本に置きながら、数直線等を使って量感を掴めるようにする。
11	面積			・表を使い、増え方等の決まりを見付けられるようにする。
	平均とその利用		○平均の求め方、見積もりの仕方 ◆平均について、その意味や求め方を理解し、いろいろな場面で平均を調べたり平均を使って考えたりすることを通して、その理解を深め生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	単位量あたりの大きさ		○異種の2量の一方を単位とした比較、単位量あたりの大きさ ◆混みぐあいなどについて、その比べ方や表し方を考えたり説明したりすることを通して単位量あたりの大きさを求めて比べることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う。	・箱を展開する活動を行う。色を付けるなどして重なりを理解できるようにする。
12	割合（2）		○全体・部分の割合 百分率等 ◆割合について、その意味や百分率などの表し方を理解し、割合を使った問題や割合が増減する問題を解決することを通して、割合の見方・考え方を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
	円と正多角形		○正多角形概念、円周と直径の比例関係 ◆円と正多角形について、正多角形の構成や作図などの活動や円周の求め方を考えるといったことを通して、平面図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
1	割合のグラフ	6 1	○帯グラフや円グラフのかき方、考察 ◆身のまわりの事象について、帯グラフや円グラフを用いた分類・整理の仕方を理解し、それをもとに事象の特徴を考察したり説明したりすることを通して、統計的に問題解決する力を育むとともにその方法を生活や学習に活用しようとする態度	

2	角柱と円柱		を養う。 ○角柱と円柱の定義、弁別、特徴、見取り図 ◆角柱や円柱について、観察を通してその分類や意味を理解し、その構成要素に着目して性質を調べたり見取り図や展開図のかき方を考えたりすることを通して、立体図形の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。	
3	速さ 変わり方		○速さの意味、比べ方、道のり、時速・分速・秒速 ◆速さについて、その比べ方や表し方を考えたり、いろいろな速さに関する問題を解決したりすることを通して、速さ・道のり・時間の関係の理解を深めるとともに生活や学習に活用しようとする態度を養う。 ○$y = x + a$ や $y = a \times x$ となる関係についての考察 ◆伴って変わる2つの数量について、その関係を○や△を使って式に表したり表に整理して変わり方を調べたりすることを通して、変化の特徴をとらえたり比例するかどうかを判断したりすることができるようにするとともに、生活や学習に活用しようとする態度を養う	

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	5 年
教科等名		理科	教育課程	C（準ずる）
ねらい		（知・技）物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力、生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性についての理解を図り，観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。 （思・判・表）物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力、生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，主に予想や仮説を基に，解決の方法を発想する力を養う。 （主）物の溶け方，振り子の運動，電流がつくる磁力、生命の連続性，流れる水の働き，気象現象の規則性について追究する中で，生命を尊重する態度や主体的に問題解決しようとする態度を養う		
担当教員		担任： 多島 康美		
年間授業時数		105 単位時間		
使用教科書		新編 新しい理科 5（東京書籍）		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	天気の変化	35	○雲と天気 天気の予想 ◆雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化と関係付けて、天気を調べる活動を通じて、観察などに関する技能を身に付けるとともに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度を育成する。 ○種子が発芽成長する条件 発芽と養分 ◆発芽と成長の様子に着目して、それらに関わる条件を御しながら、植物の育ち方を調べることを通して、植物の発芽と成長の条件についての理解を図り、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	・観察は、形、色、大きさに着目して行うようにする。 ・生活経験やこれまでの学習から思い出し、推測できるようにする。
5	植物の発芽と生長		○卵の変化の観察 ◆魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、魚の発生や成長を調べる活動を通して観察などに関する技能を身に付けるとともに、解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度を育成する。	・発芽と成長の様子に着目しやすよう、動画や拡大写真を活用する。
6	魚の誕生		○花のつくり 花粉のはたらき ◆結実の様子に着目して、植物の花のつくりや実のでき方を調べることを通じて結実とその条件について理解を図り、観察実験などに関する技術を身につけ、解決の方法を発想する力を養う。	・魚を育てる中で、卵の様子に着目して、時間の経過と関係付けて、魚の発生や成長を調べやすい環境を設定する。
9	花から実へ	45	○台風の動きと変化 私たちの暮らしと台風 ◆雲の量や動きに着目して、それらと天気の変化とを関係付けて、それらについての理解を図り、観察などに関する技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	・秋のころの植物や動物の写真を提示し比較できるようにする。
10	台風と天気の変化		○川原の石 流れる水のはたらき 私たちの暮らしと災害 ◆流れる水の速さや量に着目して、それらの条件を制御しながら、流れる水の働きと土地の変化を調べる活動を通して、観察、実験などに関する技能を身に付け、解決の方法を発想する力や主体的に問	・イメージしやすいよう動画や拡大写真を活用する。
11	流れる川のはたらき			・実験の初めと終わりの写真を撮り、比較できるようにする。

12	ものの溶け方	2 5	題解決しようとする態度を育成する。 ○ものが水にとけるととき ものが水に溶ける量 ◆ものが水に溶ける量や様子に着目してものの溶け方の規則性を調べる実験を通して理解を図り技能を身につけると共に、予想や仮説を基に解決方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 ○人の生命の誕生 ◆人の発生についての資料を活用する中で、胎児の様子に着目して、時間の経過と関係付けて調べ、それらについての理解を図り、主に予想や仮説を基に解決の方法を発想する力や生命を尊重する態度、主体的に問題解決しようとする態度を育成する。 ○電磁石の性質 ◆電流の大きさや向き、コイルの巻き数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、その技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	・対照実験などで比較できるようにする。 ・イメージしやすいよう動画や拡大写真を活用する。
1	電流が生み出す力		○電磁石の性質 ◆電流の大きさや向き、コイルの巻き数などに着目して、これらの条件を制御しながら、電流がつくる磁力を調べる活動を通して、その技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	・電流の大きさや向き、コイルの巻き数などに着目しやすいよう実験道具を設置する。
2	ふりこのきまり		○ふりこの1往復する時間 ◆ふりが1往復する時間に着目して、おもりの重さやふりこの長さなどの条件を制御しながらふりこの規則性を調べる活動を通して、その技能を身に付けるとともに、主に予想や仮説を基に、解決の方法を発想する力や主体的に問題解決しようとする態度を育成する。	・ふりが1往復する時間に着目して、おもりの重さやふりこの長さなどの条件の規則性を調べやすい実験道具を設置する。
3				

令和7年度東京都立鹿本学園年間指導計画

部門・学部		肢体不自由教育部門 小学部	学 年	4 年 5 年
教科等名		自立活動	学習グループ（教育課程）	C（準ずる）
ねらい		（知・技）日常生活に必要な体力を身に付ける。 （思・判・表）自分の身体の状態を知り、機能の維持・向上させるための取り組みを考えることができる。 （主）介助や自分の希望などを伝える時に、丁寧な言葉遣いで話そうとすることができる。		
担当教員		教師：多島 康美 佐藤 匠		
年間授業時数		70 単位時間		
使用教科書		なし		
月	単元（題材）名	指導時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）	指導の工夫
4	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。 丁寧な言葉遣いで話そう。	25	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆日常生活に必要な動作の仕方を覚え、練習する。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り、見通しをもって取り組めるようにする。 ・身体の使い方を児童がイメージできるように、動かし方のポイントなどを助言する。
5				
6				
7				
9	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。 丁寧な言葉遣いで話そう。	25	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、日常動作の練習、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆日常生活に必要な動作の仕方を練習する。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・必要に応じて個別のメニュー表を作り見通しをもって取り組めるようにする。 ・意欲的に取り組めるように、ゲームの要素などを取り入れる。
10				
11				
12				
1	自分の身体のことを知り、使い方を覚えよう。 丁寧な言葉遣	20	○ストレッチ、筋力トレーニング、バランストレーニング、四つ這い、膝立ち、日常動作の練習、身体の使い方のイメージ作り、持久力の向上など ◆自分の身体の状態を知り、維持・向上させるためのストレッチやトレーニングを行えるようになる。 ◆移動に関する身体の動かし方を覚え、行う。 ○支援が必要な場面での依頼方法、お礼の言い	・自立活動担当の教員と相談しながら取り組む。 ・身体の使い方を児童がイメージできるように、動かし方のポイントなどを助言
2				
3				

	いで話そう。		方 ◆他者の力が必要な時や手伝ってもらった時に、丁寧な言葉遣いで依頼したりお礼を言ったりすることができる。	する。 ・鏡を使い、自分の身体の様子を確認しながら取り組めるようにする。
--	--------	--	--	---

※児童の学習の習得状況に応じ、学習内容の精選や進度の調整を行います。